



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【山口県】

1 実践テーマ	【V】
2 実施対象者	周南市立福川南小学校 全校・全学年
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリンピックによる運動教室・講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	オリンピックを招いての運動教室・講演会、ボッチャ体験（山口レクリエーション協会）を通して、本物に触れ、実際に体感することで運動意欲の向上を図る。
5 取組内容	<p>① オリンピアンによる運動教室・講演会 陸上十種競技、日本記録保持者の右代啓祐選手を招いての運動教室・講演会を行った。走・跳・投の実演から、本物の力と技に触れることで、オリンピックへの興味関心が高まった。また、実演するだけでなく児童と対決をすることで、すごさもより身近に感じることができた。講演会では、競技についての話だけでなく、自らの生き方や努力についての話もあり、スポーツに関心のない児童にとっても、「夢」について考える絶好の機会になった。</p> <p>② 山口県レクリエーション協会と連携したボッチャ体験の実施 山口県レクリエーション協会から3名の方を招いて、全学年で出前授業を行った。ボッチャの概要・ルールについて説明があり、その後、実際にゲームを体験した。さらに興味が出た児童のために昼休みにも体育館を開放し、希望者でボッチャを楽しんだ。事後、学年対抗ボッチャ大会を開催する学年もあり、体験を通しての興味関心が続くように工夫が見られた。</p>
	 

6 主な成果	本物に触れ、実際に体験することで、「もっと～したい。」「私も～になりたい。」という肯定的な思いをもつことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	それぞれの活動が、つながり関連していくように工夫した。オリンピックを呼んで終わりではなく、本当の意味でオリンピック・パラリンピックに興味関心をもつことができるように、体験を通じた学習に力を入れた。
8主な課題等	著名人を呼ぶことは、児童にとって貴重な機会となることに間違いはないが、深い学びへとつながっていくよう、事前・事後の教育活動を充実させる必要がある。
9来年度以降 の実施予定	今回、オリンピック・パラリンピック教育推進校として、子どもたちの興味関心、運動意欲の向上に少しでもつながっていくよう計画を進めていった。オリンピックを通して、本物に触れることはもちろん大切な経験となるが、地域のスペシャリストを招いたり、様々な授業でオリンピック・パラリンピックに触れたりするだけでも十分な機会となるように思う。またとない2020年に向けて、みんなでスポーツを「する」「観る」「支える」雰囲気来年も継続してつくっていききたい。